学校番号 307

令和7年度 理科

教科	理科	科目	化学	华演習	単位 数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	高等学校「何	化学基礎」	(数研	出版)	新編「	化学」(数	数研出版	į)
副教材等	新課程 大学	学入学共进	通テスト	対策チェ	ック&演	習 化学基础	楚 (数	(研出版)
田秋何 子	新課程 大学	学入学共进	通テスト	対策チェ	ック&演	習 化学	(数研出	版)

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・授業は、物質の本質・変化について、その性質や法則を用いて考え、想像し、理解することを目的として進めます。事物・現象を理解し、課題(問題)をこなすことで実力をつけてください。
- ・問題集用のノートを用意してください。基本的な知識・法則を理解したら、それを利用して問題を解いてみましょう。答えを求めることのみを目的とせず、その過程を大切にしてください。
- ・家庭学習における課題は確認テストでその成果を発揮してもらいます。ただこなすのではなく、 実力を向上させる学習方法を身につけることを心がけましょう。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】

物質とその変化について理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

観察,実験などを行い,科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

		•	
観 点	a:知識·技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然の事物・現象について、 基本的な概念や原理・法則 を理解し、知識を身につけ ている。観察、実験を行い、 基本操作を習得するととも に、それらの過程や結果を 的確に記録、整理し、自然の 事物・現象を科学的に探究 する技能を身につけてい る。	自然の事物・現象の中に問題 を見出し、学んだ概念や原 理・法則を用いて探究する過 程を通し、事象を科学的に考 察し、導きだした考えを的確 に表現している。	自然の事物・現象に関心や探 究心を持ち、意欲的にそれら を探究しようとするととも に、科学的態度を身につけて いる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学	単			評価方法			
期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	知(a)	思(b)	主(c)	
1	物	物質の構成粒子とその結合	a:物質の構成、粒子間にはたらく	確認テ	ワークシ	ワークシ	
学	質の	物質量と化学反応式	力、化学反応式と物質量につい	スト・定	ート	ート・振り	
期	構成		て、基本的な法則を理解している	期考査		返りシー	
	,,,,		とともに、科学的に探究するため			1	
			に必要な実験などに関する基本				
			操作や記録などの基本的な技術				
			を身につけている。				
			b::物質の構成、粒子間にはたら				
			く力、化学反応式と物質量につい				
			て、問題を見出し、その解決に向				
			けて科学的に探究している。				
			c::物質の構成、粒子間にはたら				
			く力、化学反応式と物質量につい				
			て、見通しをもって問題の解決を				
			図り、結果をもとに振り返るな				
			ど、主体性をもって科学的に探究				
			しようとしている。				
	物	固体の構造	a:固体・気体・溶液のそれぞれに	確認テ	ワークシ	ワークシ	
	物質の	気体の性質	ついて基本的な概念や原理・法則	スト・定	ート	ート・振り	
	状態	溶液の性質	を理解しているとともに、科学的	期考査		返りシー	
			に探究するために必要な実験な			1	
			どに関する基本操作や記録など				
			の基本的な技術を身につけてい				
			る。				
			b: 固体・気体・溶液のそれぞれ				
			について問題を見出し、その解決				
			に向けて科学的に探究している。				
			c: 固体・気体・溶液のそれぞれ				
			について、見通しをもって問題の				
			解決を図り、結果をもとに振り返				
			るなど、主体性をもって科学的に				
			探究しようとしている。				

2	物	酸と塩基の反応	a: 化学反応とその法則について	確認テ	ワークシ	ワークシ
2 学 期	物質の変化	酸化還元反応	理解し、科学的に探究するために	スト・定	ート	ート・振り
791	変化	電池と電気分解	必要な実験などに関する基本操	期考査		返りシー
	16	化学反応とエネルギー	作や記述などの基本的な技術を			+
		反応速度、化学平衡	身につけている。			
			b:化学反応とその法則について、			
			問題を見出し、その解決に向けて			
			科学的に探究している。			
			c:化学反応とその法則について、			
			見通しをもって問題の解決を図			
			り、結果をもとに振り返るなど、			
			主体性をもって科学的に探究し			
			ようとしている。			
	無	非金属元素	a: 無機物質について、周期表と関	確認テ	ワークシ	ワークシ
	無機物質	典型金属元素	連させながらそれぞれの性質や	スト・定	ート	ート・振り
	質	遷移元素	反応について理解し、科学的に探	期考査		返りシー
			究するために必要な実験などに			7
			関する基本操作や記述などの基			
			本的な技術を身につけている。			
			b:無機物質について、問題を見出			
			し、その解決に向けて科学的に探			
			究している。			
			c:無機物質について、見通しをも			
			って問題の解決を図り、結果をも			
			とに振り返るなど、主体性をもっ			
			て科学的に探究している。			
3 学	有 機	有機化合物の性質	a: 有機化合物について、周期表と	確認テ	ワークシ	ワークシ
期	化	脂肪族化合物	関連させながらそれぞれの性質	スト	ート	ート・振り
	合物	芳香族化合物	や反応について理解し、科学的に			返りシー
	<i>p</i> -2		探究するために必要な実験など			7
			に関する基本操作や記述などの			
			基本的な技術を身につけている。			
			b:有機化合物について、問題を見			
			出し、その解決に向けて科学的に			
			探究している。			
			c:有機化合物について、見通しを			
			もって問題の解決を図り、結果を			
			もとに振り返るなど、主体性をも			
			って科学的に探究している。			

高	天然高分子化合物	a: 高分子化合物について、周期表	確認テ	ワークシ	ワークシ
分子	合成高分子化合物	と関連させながらそれぞれの性	スト・定	ート	ート・振り
化合		質や反応について理解し、科学的	期考査		返りシー
б		に探究するために必要な実験な			1
津		どに関する基本操作や記述など			
		の基本的な技術を身につけてい			
		る。			
		b:高分子化合物について、問題を			
		見出し、その解決に向けて科学的			
		に探究している。			
		c: 高分子化合物について、見通し			
		をもって問題の解決を図り、結果			
		をもとに振り返るなど、主体性を			
		もって科学的に探究している。			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度